

総合科学教育研究センター

ニュースレター

【新任教員紹介】 後藤 あや 教授



本年 4 月に医学部公衆衛生学講座から学内異動をして総合科学教育研究センターに着任しました。自己紹介として、気に入っている新しい所属名に含まれる「総合科学」「教育」「研究」の順に述べていきます。「総合科学」という視点についてですが、科学的データと保健医療、そして地域の架け橋となることをモットーに活動していきたいと考えています。具体的には「教育」において、大学の学生・院生だけでなく県内外の保健医療実務者も対象に、疫学・統計の実践的な技術を教えています（でも数学は苦手です）。震災後は、福島県内の保健師の方々を対象とする出前講座を、性差医療センターや災害医療総合学習センターと協力して運営しています。その一環として、科学的データを分かりやすく伝える技術であるヘルスリテラシーの研修を行って

ます。「研究」においては、主に母子保健（家族計画と育児支援）と国際保健（人材育成）をテーマとして、国内外の仲間と活動しています。震災後は、県民健康調査の妊産婦に関する調査に関わっており、また、人々の「声」を詳しく知るべく質的データ（文章のデータ）の分析もはじめました。教育・研究での国際交流も重視しており、本年度はイギリスとアメリカから短期で研究者の受け入れをします。また、ベトナムで現地医療従事者対象の疫学研修をほぼ毎年行っていますので、見学ご希望の方はお声かけください。これを読んでいる皆さまと一緒にできる仕事を見つけられましたら、新たな展開となり嬉しいです。

・ 分野紹介

<http://www.fmu.ac.jp/univ/en/nursing/program/ebm.html>

aya-goto.squarespace.com

・ ベトナム疫学研修

http://www.fmu.ac.jp/home/public_h/ebm/

・ 県内出前講座

<http://www.fmu.ac.jp/byoin/06seisa/06demaekouza/index.html>

(保健情報・疫学分野 後藤 あや)■

【新任教員紹介】 三澤 文紀 教授



今年度 4 月より心理学担当として着任しました三澤文紀（みさわふみのり）と申します。昨年度までは他県の私立大学で教員をしていましたが、実は 7 年ほど前から家族の都合で福島市内に住んでいます。そのため、福島にはだいぶ馴染んでいます。学内では看護学部を兼務しており、普段は 8 号館にいます。

専門領域は心理学、特に臨床心理学です。臨床心

理士の資格を持っていて、児童相談所心理判定員や精神科心理職、スクールカウンセラーとして働いてきました。これまで現場では、個人の相談から家族・関係者を含めた合同面接まで、多様な心理相談を経験してきました。また、臨床心理学の中でも家族療法、ブリーフ・セラピー（短期療法）、ナラティブ・セラピーなどを専門としており、人間関係を含めた広めの視野を持ちながら、クライアントやその家族、関係者のニーズに対する支援方法やそこの面接のあり方について研究してきました。特に、リフレクティング・プロセスと呼ばれる面接方法について、詳しく研究してきました。これに加え、今

後、学生を中心とした個人のストレスを予防する研究についても進める予定です。

本学では、両学部1年生向け、そして看護学研究科（大学院）向けの心理学関連授業を担当しています。心理学には、ユニークな知識・視点・方法がたくさんあり、その中には医師・看護職者になった際に役立つものも数多く含まれます。授業では、学生の皆さんに心理学のおもしろさや役立つ知見をお伝えしていきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

（人文社会科学系領域・三澤 文紀）■

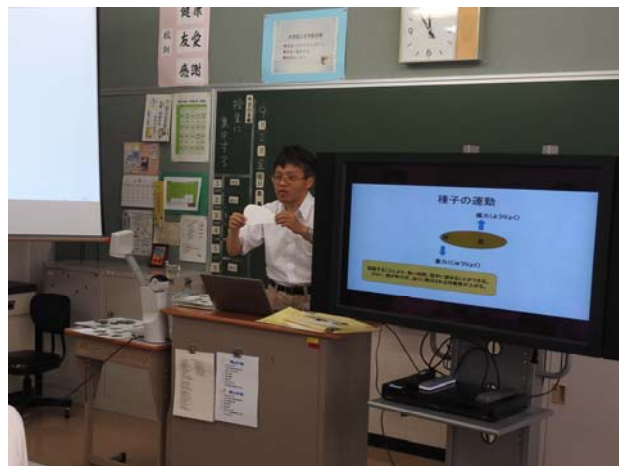
【センター活動紹介】第8回医大総合科学キッズラボ

2016年9月2日に県立須賀川養護学校医大分校（本学附属病院内小学生・中学生を対象）において、「第8回 医大総合科学キッズラボ」が谷口暢一、志村清仁、五十嵐城太郎、西山学即らによって行われました。

今回のキッズラボでは谷口が講師を務め、「カエデの秘密」と題した授業を行いました。

前半は、カエデとモミジの違いから始まり、万葉集の和歌や、福島県内で集めたカエデの葉を紹介しました。

後半は、カエデの種子のモデルを作成し、プレイルームで実際に飛ばし体験することで、種子の構造の理由について興味深く学習を行いました。



【授業の様子】

（自然科学系領域・谷口 暢一）■

【学術学会等行事カレンダー】

月	日	学会・討論会
11	12	日本カント協会第41回学会（福島大学）
	12-13	第49回酸化反応討論会（徳島大学） 日本英語学会第34回大会（金沢大学）
	16-17	第44回構造活性相関シンポジウム（京都芝蘭会館）
	17-19	日本動物学会第87回沖縄大会（沖縄コンベンションセンター）
	19-20	第46回日本医事法学会研究大会（明治大学）
	30-12/2	第34回メディシナルケミストリーシンポジウム（つくば国際会議場）

月	日	学会・討論会
12	11/30-2	日本分子生物学会第39回年会（パシフィコ横浜）
	3-4	第28回日本生命倫理学会年次大会（大阪大学）
	8-10	第43回有機典型元素化学討論会（仙台市民会館）
	21-22	第18回生体触媒化学シンポジウム（日野）

1	20-21	第19回武田科学振興財団生命科学シンポジウム (武田薬品研修所)
	25-27	第27回日本疫学会学術総会 (バルクラシック甲府)

3	15-18	日本天文学会春季年会 (九州大学)
	16-19	日本化学会第97回春季年会 (慶応大学)
	17-20	日本物理学会第72回年次大会 (大阪大学)
	24-27	日本薬学会137回年会 (東北大学)

【コラム】 教養としての周期律表：ナトリウム (Na)

今回は、ナトリウムについて紹介します。

ナトリウムは、周期表ではアルカリ金属に分類される元素です。

この元素は、わたしたちの身の回りにおいて、海水、土壌、動植物など、様々なところに含まれており、かつ、生活を支えるガラス、ランプなど製造にも必要とされています。

さて、このナトリウムは、単体としては、水や酸素など

とすぐに反応してしまうため、灯油に入れて保存されています。しかしながら、陽イオンになると安定で、様々な元素と結合し、安定な化合物を形成します。

また、細胞表面のイオンチャンネルに代表されるように、生命維持を行う上でも非常に重要な役割を担っています。

元来、海水中に多く含まれているために進化の過程で利用されるようになったのかもしれませんが。

(自然科学系領域・谷口 暢一) ■